

## “Defense of JAPAN” in English

～札幌地本長 北大にて全編英語で講演～（札幌地本）

==令和4年12月6日（火）

北海道大学==

自衛隊札幌地方協力本部長 佐藤和之 1等陸佐は12月6日（火）、北海道大学において講演を実施しました。

本講演は、北海道大学現代日本学プログラム課程の留学生等約30名（米、欧、アジア各1／3）の日本の安全保障等に関する講義において、同大学からの依頼を受けて初めて実施したものです。

佐藤本部長は、海外での経験を生かし、説明、質疑応答を英語で行いました。

講義においてはまず、「抑止とは何か」「過去何十年にもわたり日本列島において抑止は機能してきたか、そしてこれからも機能するか」という質問を投げかけた上で、日本国憲法と自衛隊法の規定、防衛省自衛隊の現状について紹介し、事態認定の枠組みと自衛隊の行動及び活動の概要を整理した上で、防衛白書の内容を説明しました。

日本で日本について学び、そして将来日本で働くであろう留学生に、日本の防衛の実情と歴史を含めた特性を理解してもらうことは、将来にわたって各界において良好な協力関係を築く上で大きな意義があります。

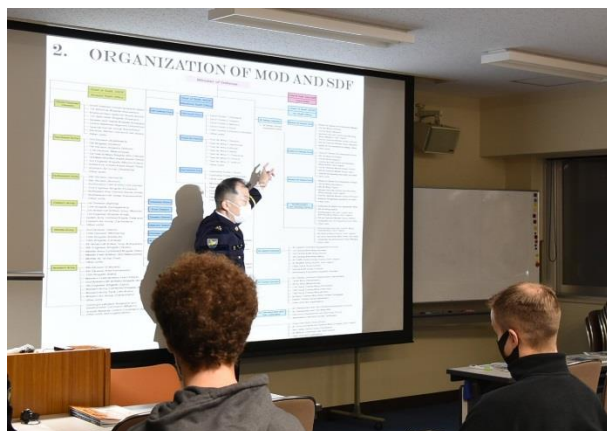
参加した留学生からは多くの質問があり活発な質疑応答となり、「日本と近隣諸国の軍事バランスや関係性が理解できた」との所見が寄せられました。

同課程の教授からは、「とても分かりやすく活発に議論できた。是非、次回の講義もお願いしたい」とのコメントを得ました。

札幌地本は、留学生を含めた学生や教員など、地域等との連携を通じ、我が国防衛に対する理解の深化に努めていきます。



多くの学生が集う北海道大学  
(札幌市北区)



問いかけを交えながら憲法と自衛隊の規定を説明



我が国を取り巻く安全保障環境について説明



真剣な面持ちで日本の防衛を聴講する北大留学生



日本の防衛に関して活発な議論が展開



日本のことを我がことと捉え熱心に質問する留学生